

SCG060-12

会場:302

時間:5月25日 11:30-11:45

イタリア、フィネロ金雲母かんらん岩体の岩石学的特徴 Petrological characteristics of the Finero Phlogopite-Peridotite Massif, Italy

鈴木 敬人¹, 森下 知晃^{1*}, 田村 明弘¹, 芳川 雅子², ザネッティ アルベルト³, マズッケーリ マウリシオ⁴
Takahito Suzuki¹, Tomoaki Morishita^{1*}, Akihiro Tamura¹, Masako Yoshikawa², Alberto Zanetti³, Maurizio Mazzucchelli⁴

¹ 金沢大学, ² 京都大学, ³ パビア地球科学研究所, ⁴ モデナ大学

¹Kanazawa University, ²Kyoto University, ³CNR-Pavia, ⁴Universita di Modena

イタリア、フィネロ金雲母かんらん岩体は、角せん石、金雲母などの含水鉱物を多産し、かつ低温での蛇紋岩化や変質プロセスの影響が少ないため、流体によるマントル交代作用を理解するための天然試料として世界的に有名である。フィネロ岩体では化学分析に基づいた研究は多くなされているが（例えば、Zanetti et al., 1999 Contrib. Mineral. Petrol. 134, 107-122; Morishita et al., 2008 Chem. Geol. 25, 99-111）、岩石学的な実体について詳細には明らかにされていないのが現状である。そこで、我々は岩石学特徴について検討を始めた。その結果、フィネロ岩体では、シリカ成分の付加、複数の流体の関与、アンチグライトータルクを形成するような条件での蛇紋岩化プロセス、シュードタキライト様岩の形成が記録されていることがわかってきた。

キーワード: 流体, かんらん岩, 交代作用, フィネロ岩体

Keywords: fluid, peridotite, metasomatism, Finero massif